

2020年 第2回定例会 6月 鹿児島市議会報告

令和2年第2回定例会市議会が、6月9日から25日までの会期で開催され、新型コロナウイルス感染症対策関連予算を含む29億3287万1千円の補正予算が提出されました。党市議団は、それぞれ個人質疑に立ち、市民要求にもとづいて、市長や当局の見解をたずすと共に、最終本会議では、30議案のうち、マイナンバー関連と保育士の配置基準の緩和をもたらす6つの条例改正議案に反対を表明しました。(表1参照)



たてやま清隆
鹿児島市議会議員

園山えり
鹿児島市議会議員

大園たつや
鹿児島市議会議員

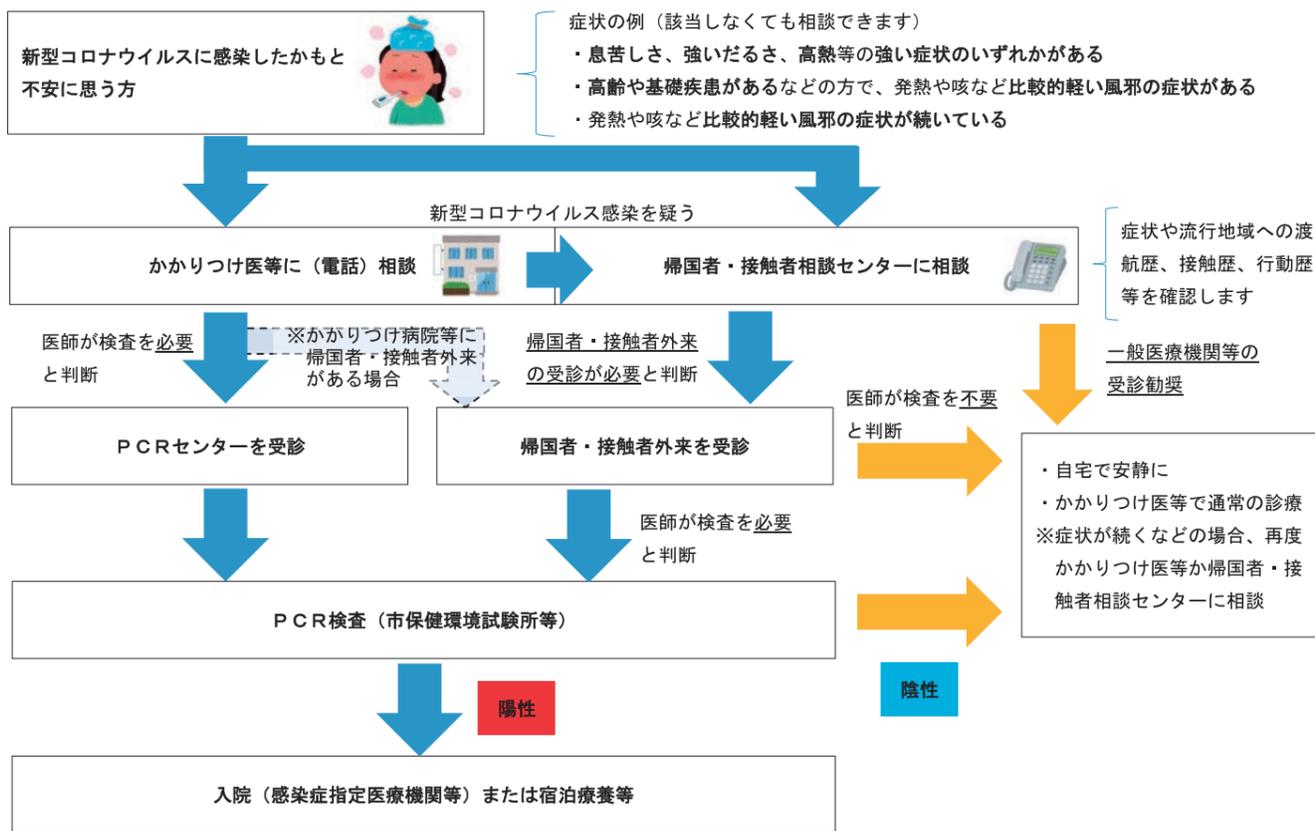
第2波にそなえ コロナ禍の下で「命と暮らし」を守る対策の拡充を! 無症状も含め大規模なPCR検査の実施を



6月12日、本市で4例目となる感染者が報告される下で、党市議は、新型コロナウイルス感染症の早期発見につながる PCR 検査の大規模な実施を要請しました。

本市では、コロナの相談から PCR 検査までの流れは、図（市 HP より）の通りです。PCR 検査の1日の処理能力は254件であり、6月11日現在、市内16か所の医療機関の「帰国者・接触者外来」で検体採取が行われています。しかし、相談件数は1万件を超えているにもかかわらず、本市での PCR 検査件数は1029件と少ない現状です。市当局から「無症状者に対しても PCR 検査を実施する」との答弁が示されましたが、7月1日、本市で5例目の感染者が報告され、同時に繁華街でのクラスターが発生し、7月15日現在、本市で105例目（県内158例目）の感染者が報告されています。無症状も含め大規模な PCR 検査を実施し、早期発見、早期隔離の対策を講じることが求められています。

相談からPCR検査までの流れ



図：相談からPCR検査までの流れ（市HPより）

表1: 議案に対する各会派の態度

議案	議案内容と理由	賛成	反対
第13号議案～第17号議案 ○本市の児童福祉施設、幼保連携型認定こども園、家庭的保育事業等の設備及び運営の基準改正と認定こども園の認定の要件を定める条例改正議案	○保育士不足を補い、待機児童を解消するため、保育所等に保育士の資格を有しない職員を配置する特例を認める条例改正です。 ○党市議団は、保育所等に無資格の職員の配置を認めることは、保育の質の低下が懸念されること、また保育士不足を補うためには、保育士の処遇改善を最優先すべきであること。	自民党 公明党 社市民民フォーラム 市民連合 立憲フォーラム	日本共産党
第20号議案 鹿児島市手数料条例一部改正	○本人確認のため、マイナンバーカードの代わりに、紙製の通知カードが使用されていたが、これを廃止しマイナンバーカードを普及させるための条例改正であり、個人情報漏洩のリスクが一層高まること。		
第38号議案など24議案 令和2年度一般会計補正予算	新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算 (15億8996万8千円)に基づく事業など（裏面参照）	全会一致	